



我が友，うま！

趣味は？と聞かれれば「馬」ですが…。

「もし、弁護士になれなかったら、乗馬クラブか北海道の牧場で働こう」、受験時代に本気でそう考えていました。「馬」は私の趣味というよりは、親友です。

出会いは偶然でした。大学に入学した私は、司法試験の勉強だけではつまらない、勉強以外に何か面白いスポーツをやろうと考えていました。そんな時、たまたま新歓で賑わうキャンパスで声をかけられ、馬術部の試乗会に参加したのが馬との出会いでした。それ以来、馬の虜となり、以後4年間、司法試験の勉強そっこのけで馬と生活する日々。ほとんど大学の授業には出ず、馬の世話に明け暮れました。馬は生き物ですから、その世話のために誰かが必ず厩舎にいなければなりません。24時間、盆暮れなしの年中無休、馬術部はコンビニエンスストアのような部活だったのです。

卒業後、本格的に司法試験の勉強を始めましたが、その傍ら、馬術部のコーチとして後輩の指導などをしていました。馬は常に私の身近に居て、励ましでもありました。さすがに弁護士になってからは忙しく、年に数回、試合を見に行ったり、合宿の激励に行くぐらいで馬場から足が遠のいてしまっていますが、本格的に再開する機会をうかがっています。

モンゴルまで行ってしまいました！

一昨年の9月、法友全期会の視察旅行「百聞は一見に如かずツアー in モンゴル」に参加させてもらってモンゴルに行きました。本来は、発展途上国に対する法整備支援活動の視察が目的ですが、憧れの「馬と大草原の国」に行けるこの機会を逃すまいと、馬好きの私はすぐさま応募しました。モンゴルは思った通りの雄大

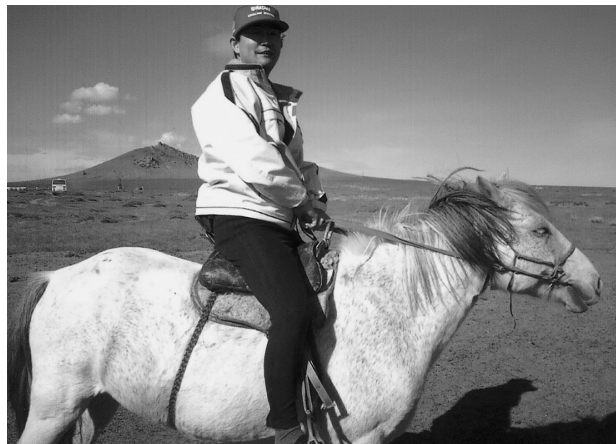
会員

上條 弘次<56期>

な国で、今度は、家族を連れて行きたいと思っています（家族からは迷惑がられそうですが…）。

是非、皆さんも乗馬に挑戦を！

馬に乗っていると「優雅ですね」とか「楽ちんそうですね」といわれますが、実はそんなことはありません。馬上で馬の動きに合わせてバランスを取るの意外に難しいもので、乗馬はハードな全身運動です。普通の人には30分も乗ると足はガクガク、翌日には全身が痛くなるはずです。でも、乗馬は、乗る人のレベルや体力に合わせた様々な運動スタイルがありますので、年齢や性別に関係なく楽しむことができます。女性や年配の方にも挑戦して欲しいものです。実際、乗馬クラブではOLの方やリタイアしたご夫妻なども多くいます。普段、仕事に追われがちな弁護士にとっては、運動不足の解消となるばかりではなく、馬とのふれあいは癒しそのもの、ストレス解消になること請け合いです。何より、馬と心が通じたときはこれ以上の喜びはなく、素敵な「友」と出会えるかもしれません。



モンゴルにて